



もう帰るね

親しき仲でもマナーあり

人の家に遊びに行くとき、招かれたときは、去るタイミングや時間もきちんと考えて滞在しましょう。親兄弟だから、親しい仲だからと長々と相手のリビングに滞在し、食事を共にし、お茶菓子を食べて会話が尽きてもまだ相手の家にだらりと居続けるのは、決して美しい姿ではないのです。

「この人にまた会いたいな」そう相手に思わせるようなタイミングですと席を立ち、あたたかい挨拶をしてサッと別れる。そんな訪問のマナーがお互いの関係性をもっと深め、豊かにしてくれるのです。

さしたることなくて人のがり行くは、よからぬことなり。用ありて行きたりとも、そのこと果てなば、とく帰るべし。久しく居たる、いとむつかし。

(第170段)